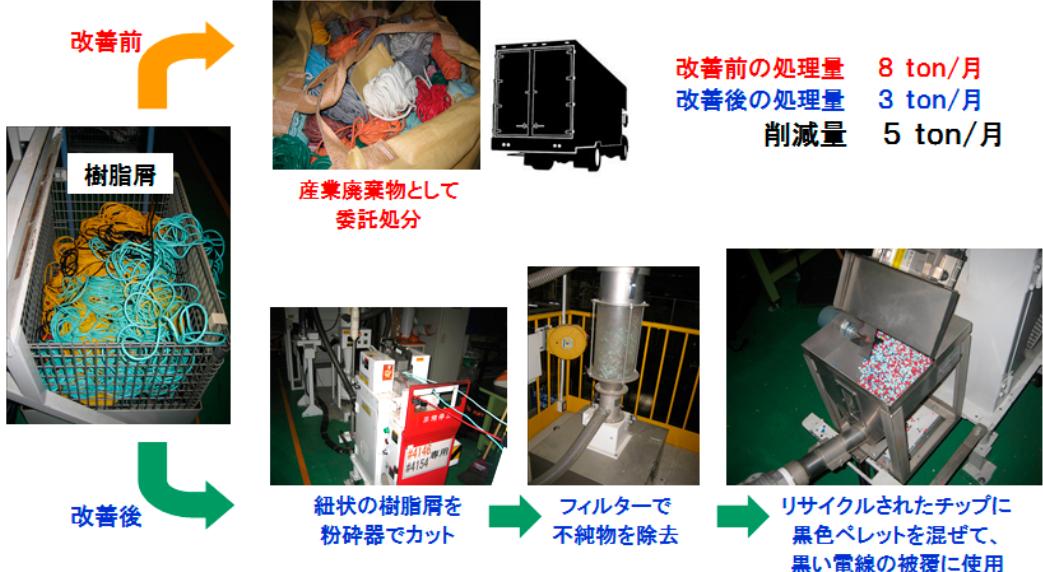


経済産業大臣賞 <small>「事業所・地方公共団体等」分野</small>	<p>受賞者名 住友電装株式会社</p> <p>所在地 三重県四日市市</p> <p>受賞テーマ 「アクション ECO」～ 国内全拠点で取り組んだ 3R 推進活動～</p>						
<p>同社は 1995 年に環境理念を制定し、トップダウンで国内各拠点での ISO14001 認証の取得やゼロエミッションを達成してきた。自動車部品メーカーとして、自動車用の電気配線（ワイヤーハーネス）の製造を行っているが、ハイブリッド車や電気自動車の普及によって、ワイヤーハーネスは構成部品が複雑化・肥大化しており、それに伴って産業廃棄物も増大傾向にあったため、ゼロエミッションを高いレベルで継続させるためにも、国内全拠点を対象とした 3R 活動を展開した。</p>							
<p>【リサイクル活動】</p> <p>2006 年より社内に 3R センターを設立し、製造過程で不要廃棄された製品屑を各拠点から集め、専任者が分解することで、産業廃棄物からリサイクル品への展開を図った。</p> <p>また、製品屑を分解してリサイクルするだけではなく、製造過程で生じたロス屑などは、その場で原材料にリサイクルする装置などを取り入れて、全体的なリサイクル率を向上させた。</p>							
<p>【リデュース活動】</p> <p>リサイクル活動のみでは削減量に限界があるため、部品の包装材や樹脂トレーなどは徹底的な分別処理を開始した。数量を纏めるために一箇所に集約させる事で有価売却への転換を図り、廃棄物量の削減に繋げた。</p>							
<p>【リユース活動】</p> <p>不要となった事務機器や事務用品を社内の他部門に紹介して、再利用してもらう取り組みを 2008 年より開始した。各職場で担当者を決めて、事務機器の需要と供給情報を拠点単位で管理する事でタイムリーに再利用される仕組みを構築した。</p>							
<p>【3R 活動の具体事例（抜粋：電線被覆樹脂の社内リサイクル）】</p>  <p>The diagram illustrates the recycling process of insulation resin waste. It starts with a '改善前' (before improvement) stage where resin scraps are sent to a disposal company as industrial waste. This is contrasted with a '改善後' (after improvement) stage where the scraps are crushed into chips, passed through a filter to remove impurities, and then mixed with black pellets before being used again for black cable insulation.</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>改善前の処理量</th> <th>8 ton/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>改善後の処理量</th> <th>3 ton/月</th> </tr> <tr> <th>削減量</th> <th>5 ton/月</th> </tr> </tbody> </table>		改善前の処理量	8 ton/月	改善後の処理量	3 ton/月	削減量	5 ton/月
改善前の処理量	8 ton/月						
改善後の処理量	3 ton/月						
削減量	5 ton/月						